

# かけはし



1月31日(水)午後7時から、「第2回吉川地域における施設一体型小中一貫校設置に係る地域協議会」を開催しました。

前回の協議会でいただいたご意見やご質問に対する説明や回答を行うとともに、子どもにつけたい力や学校施設の在り方、検討すべき学校用地のリストアップ等を行いました。地域、保護者、学校が一体となって魅力ある学校づくりに向け、意見交換を行いました。



## 1 事務局説明 ～第1回協議会でのご意見やご質問に対する説明や回答を行いました～

(1) 【Q】 特認校制度の概要について

【A】 導入を検討している「特認校制度」について資料を用いて説明するとともに、実際に導入している市町の考え方や就学の条件(例)等を共有しました。

(2) 【Q】 学校設置とまちの活性化の関連について

【A】 教育委員会が今までに視察を行ってきた複数の先進地への聴き取りを行った結果を説明しました。学校設置が直接的にまちづくり(人口動態やまちの活性化等)につながることは少ないとの回答でしたが、吉川に設置する学校が子どもたちの豊かな学びや笑顔あふれる学校生活に繋がればと考えています。

メモ

【特認校制度とは・・・】  
学校選択制の1つであり、従来の通学区域を残したままで、教育委員会が指定する特定の学校について、通学区域と関係なく、市内のどこからでも通学を認めるもの。



## 2 意見交換(フレーンストーミング)に向けた説明や情報共有を行いました

(1) めざす児童生徒の育成に向けた吉川小・吉川中の取組紹介

吉川小・吉川中では、「小中一貫教育実践推進校」として市内の学校に先駆けて、児童生徒や教職員の交流、9年間のつながりのあるカリキュラムづくりに取り組んできました。

今回は、長谷川小学校長と河原中学校長に吉川中学校区で育成をめざす「15歳(12歳)の姿」の実現に向けて大切にしている「1年1年の学びを確実に積み上げていく」ことや「教職員の連携・協働体制の確立」等について、紹介していただきました。



(2) 新しい時代の学びを実現する学校施設の在り方について(文部科学省資料)

学校のICT環境が整備され、1人1台端末環境のもと、全ての子どもたちの可能性を引き出す学びが学校現場に求められるようになってきました。

そこで、学びのスタイルの変化に伴い、これからの学校施設に求められることについて、資料を活用しながらイメージを共有しました。



学校施設の5つの姿の方向性（例）について

**【ア 学びの視点】**



柔軟で独創的な学習空間の実現

個別学習や少人数学習などの多様な学習活動へ対応できるように廊下や多目的スペース等に関する工夫が示されています。

**【イ 生活の視点】**



健やかな学習・生活空間の実現

子どもの心がほっと落ち着くリビング空間的なエリアが紹介されています。リラックスできるソファやベンチがあります。

**【ウ 共創の視点】**



ともに創造する共創空間の実現

地域とともにある学校づくりをめざしていく中で、地域コミュニティとしての機能も持たせていくことが重要となってきます。

**【エ 安全の視点】**



安全・安心な教育環境の実現

防災対策などを強化し、来校するすべての人にとって、安全性の確保と使いやすい教育環境をめざしていきます。

**【オ 環境の視点】**



持続可能な教育環境の実現

屋根や外壁の断熱化、太陽光発電設備の導入等による省エネルギー化を進めていき、持続可能な教育環境の実現をめざしていきます。



新しい時代の学びを実現する学校施設の在り方

特に施設一体型小中一貫校では、廊下や階段をはじめ、体育館や校庭など、あらゆる空間が学びの場であり、教育の場、表現する場、心を育む場となってきます。

そこで、**学校施設全体を「学びの場」として捉え直す視点**でも、学校施設の在り方を検討していきます。

**(3) 学校用地検討の大まかな流れについて**

学校用地決定までの流れは、まず、検討すべき用地のリストアップを行い、次に候補地選定基準を設定していきます。そして、候補地選定基準に基づき検討すべき用地の中から候補地を選定し、最終的には候補地の中から最適地を建設用地として決定していく予定にしています。

今回の協議会では、検討すべき用地に求められる条件（用地の広さ、学校へのアクセス、防災、防犯・・・等）や具体的な場所について、自由に意見を出し合い、考えを共有していくこととしました。



### 3 フレーンストーミングによる意見交換を行いました ～出された意見を紹介します～

4グループに分かれて、以下の3つにテーマについて意見交換を行いました。

- (1) めざす児童生徒像
- (2) 教育内容と施設設備
- (3) 検討すべき学校用地（理由）

それぞれのテーマについて、個人の意見を付箋に書き出し、グループ内で発表や意見交換を行いました。参加者全員が自由な発想で意見を出し合うことができました。

今後、吉川小・中学校を中心とした教職員からも同様に意見を聴いていく予定にしています。



#### (1) めざす児童生徒像について(主な意見内容)

- ・ 優しさや思いやりの心を持った子
- ・ コミュニケーション能力を持った子
- ・ 向上心を持った子
- ・ 夢やチャレンジ精神を持った子
- ・ 基本的な生活習慣や礼儀のある子
- ・ 軸の太い子
- ・ 違いを認め合える子
- ・ よく遊び経験を積む子
- ・ 心豊かな子
- ・ 郷土愛を持った子
- ・ 協働・協力できる子
- ・ 自主性や社会性を備えた子
- ・ 自分の意見を言える子
- ・ 悩みを乗り越える子
- ・ 人を敬う心を持った子
- ・ 忍耐力のある子
- ・ 明るく健康でたくましい子
- ・ 基礎基本の学力を身に付けた子

#### (2) 特色ある教育内容と施設設備(主な意見内容)

##### 【重視したい教育内容】

- ・ 郷土学習
- ・ 多世代との交流
- ・ 体験学習（農業・自然・職業等）
- ・ 個に応じた学び
- ・ 外国語（英語）
- ・ 異文化交流
- ・ ICT教育
- ・ 人権教育
- ・ 部活動（小・中合同）
- ・ 確かな学力
- ・ 音楽教育
- ・ 生き抜く力

##### 【施設設備の在り方】

###### ア 学びの視点

- ・ 広い運動場や野球場
- ・ 異学年交流スペース
- ・ 図書室の蔵書の充実
- ・ 多様性に対応した設備
- ・ 個別のニーズに対応した部屋や環境
- ・ スポーツ（ゴルフ等）練習場
- ・ 動植物と触れ合える場所

###### イ 生活の視点

- ・ 明るく開放的な空間
- ・ 安全で快適な部屋
- ・ 体育館をはじめとした空調設備
- ・ 洋式トイレ
- ・ 収納スペース
- ・ 充実した遊具
- ・ 児童生徒数に応じた施設設備



#### ウ 共創の視点

- ・地域の人と交流できる空間
- ・ランチルーム（調理室）
- ・大きな体育館 ・ 広い駐車場
- ・民間施設 ・ 近隣施設の併設
- ・屋内プール（市民開放）

#### エ 安全の視点

- ・防犯カメラ ・ バリアフリー
- ・スクールバスの待機場所

#### オ 環境の視点

- ・エコな校舎

#### カ その他

- ・流行に合わせすぎないことも大切



### (3) 検討すべき学校用地とその理由(主な意見内容)

#### 【学校用地に求められる条件】

- ・災害の危険性が少ない
- ・広い敷地（大きな運動場）
- ・出入りしやすいところ
- ・野球やソフトボールができる場所
- ・自転車通学時の交通安全
- ・吉川の地らしいところ
- ・まちづくり施設併設時の広さの確保
- ・子どもたちで通える場所
- ・付近の民家の状況
- ・どの地区からも登校時間が同じような場所
- ・広い駐車場（300台程度）
- ・地域の人が集まりやすい
- ・バスが通る場所
- ・高低差の少ない場所
- ・自転車で通える場所
- ・近くに公共施設等がある場所
- ・新築（校舎やプール）

#### 【委員から出た主な検討すべき用地】(※1)

- ・吉川高校跡地 ・ 吉川総合公園
- ・吉川中学校 ・ 吉川小学校
- ・町内にある広大地 (※2) 他

(※1) 用地によっては、拡張や造成が必要な場合がある。

(※2) 学校設置が可能な広い場所の検討



## 4 協議会のふり返りと今後の予定について

今回の協議会では、委員の皆様から多くのご意見をいただくためにブレインストーミングによる意見交換を行いました。地域の将来を担う子どもたちの育成に向けて、委員の皆様のそれぞれの立場で、忌憚のないお考えを共有することができました。

今後は第3回協議会に向けていただいたご意見を集約し、「新しい施設一体型の小中一貫校の在り方」について、さらに協議を深めていく予定にしています。

**第3回地域協議会は、  
令和6年4月下旬に開催予定です。**



**お問い合わせ**

三木市教育委員会小中一貫教育推進室  
電話 0794-82-2000(内線 3523)  
ホームページもご覧ください。

<https://www.city.miki.lg.jp/soshiki/89/>

又は、「三木市 小中一貫教育」で検索

